

「災害停電時マンホールポンプ起動支援システムの開発に関する共同研究」 の共同研究者募集について

下記のとおり共同研究者を公募しますので、関心のある企業、団体、または共同企業体（JV）の方は下記問い合わせ先（担当者）までご連絡下さい。

1. 研究概要

(1) 名称

災害停電時マンホールポンプ起動支援システムの開発に関する共同研究

(2) 背景

近年、大規模地震や地球温暖化に伴う風水害などが多発しており、停電に伴うマンホールポンプの稼働停止が増加しています。現行の対策としては、地方公共団体と災害協定を結んだ支援企業（地元建設会社等）が可搬式の小型自家発電機を用意し、災害箇所でもって運転して対応するのが一般的ですが、自家発電機は化石燃料を使用するため、地球温暖化への対応や騒音対策のほか、大規模災害時における支援機材の不足（送水できるポンプ数が限られる）など諸課題があります。

これらの諸課題を解決するため、下水道事業の地球温暖化対策に寄与する「太陽光発電」、「可搬式蓄電池」、「電動車両」を組み合わせた「災害停電時マンホールポンプ支援システム」が地方公共団体の下水道事業推進の一助となるものと思われ、ここに共同研究への参画を募るものです。

(3) 目的

本研究は、災害停電時マンホールポンプ支援システムを開発することを目的とする。

(4) 研究内容

- ① 災害停電時にマンホールポンプの起動システムとして必要な機能の明確化
- ② 災害停電時の効果的な起動システムの運用方法の明確化
- ③ 平常時の蓄電池の活用方法の明確化
- ④ 起動システムの低コスト化の実現

(5) 研究期間

令和3年8月から令和4年12月

2. 募集期間

令和3年8月16日（月）正午まで

3. 募集基準

応募にあたっては、以下の基準を満足する企業、団体、または共同企業体（JV）とし、本研究の遂行に必要と考えられる次の項目を確認できる書類の提出をお願いします。

共同企業体（JV）により業務を実施する場合は、業務の分担および構成員について記載した業務実施体制の提出をお願いします。

- ① マンホールポンプの納入実績があり、自社施設として、4号マンホール相当規模の実験施設（揚程が5m以上）を有し、水中ポンプを連続（12時間以上）して運転できる実験施設を有する、または実験開始予定の2022年1月時点で有する企業または団体。
- ② 公共下水道（特定環境公共下水道を含む）の下水道管路施設（マンホールポンプ含む）に関する計画かつ設計の業務を請け負った実績がある企業または団体。

4. 問合せ先（担当者）

公益財団法人 日本下水道新技術機構 研究第二部 三井、吉野

TEL : 03-5228-6598、FAX : 03-5228-6512

E-mail : t-mitsui@jiwet.or.jp